

基本計画書

基本計画								
事項	項目	記入欄					備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更						
フリガナ設置者		コウリツダイガクホウジントヤマケンリツダイガク 公立大学法人富山県立大学						
フリガナ大学の名称		トヤマケンリツダイガク 富山県立大学 (Toyama Prefectural University)						
大学本部の位置		富山県射水市黒河5180番地						
大学の目的		富山県立大学は、広く知識、技術を授け、高度な専門の学芸を深く教授研究するとともに、多様な個性の開発を促し、人間性豊かな、創造力と実践力を兼ね備えた有為な人材を育成し、併せて、学術と生活、文化、産業等との有機的連携を進め、科学技術の拠点として、学術文化の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。						
新設学部等の目的		<p>富山県立大学は、平成27年4月の独立行政法人化を契機として、地域振興や若者の県内定着など、県民や産業界からの期待に応えるよう、入学定員の増員や教育研究分野の拡充等に取り組み、地方創生の一翼を担う魅力ある大学づくりを推進することとしている。</p> <p>また、法人化にあたって定められた中期目標（平成27～32年度）において、①教育面では、優秀な学生を確保し、地域で活躍できる有為な人材が県内に定着するよう入学から就職までの対策をしっかりと行うこと、②研究面では、「地域の知の拠点」として、産学官金連携の強化を図り、県内産業の発展に貢献する研究を推進すること、③地域課題解決や地域への人材供給を通じた地域貢献や国際化に対応した人材の育成等を推進すること、④併せて、5学科全ての拡充や魅力あるキャンパスの整備を図ることなどが重点事項として位置付けられた。</p> <p>これらのことを踏まえて産業界の意見を伺ったところ、現在本学にある分野の中で、情報システム工学科については電気・電子、IoT・ビッグデータ分野、また、環境工学科については防災、まちづくり等社会基盤分野について一層の強化・充実を図ることが求められた。</p> <p>これらのニーズに応えるためには、産業界や地域社会に有為な人材を今まで以上に多く育成することが不可欠であることから、情報システム工学科及び環境工学科の入学定員及び収容定員を増員する。</p> <p>なお、情報システム工学科及び環境工学科の教育研究内容を学科名で分かりやすく示すため、併せて学科名称をそれぞれ「電子・情報工学科」と「環境・社会基盤工学科」に変更する。</p>						
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	工学部							
	電子・情報工学科 (情報システム工学科)	4	80 (50)	— (—)	320 (200)	学士(工学)	平成29年4月 第1年次	富山県射水市 黒河5180番地
	環境・社会基盤工学科 (環境工学科)	4	55 (40)	— (—)	220 (160)	学士(工学)	平成29年4月 第1年次	
医薬品工学科	4	35 (—)	— (—)	140 (—)	学士(工学)	平成29年4月 第1年次		
計								
	同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	<p>平成29年4月名称変更予定（平成28年4月届出予定）</p> <p>工学部 情報システム工学科 → 電子・情報工学科 環境工学科 → 環境・社会基盤工学科</p> <p>平成29年4月学部の学科設置予定（平成28年4月届出予定）</p> <p>工学部 医薬品工学科（35）（平成29年4月）（平成28年4月届出予定）</p>						
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
		/	/	/	/			

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等
新設	工学部 電子・情報工学科		5 (6)	12 (8)	8 (5)	3 (3)	28 (22)	— (—)	4 (4)
	既設	環境・社会基盤工学科		5 (5)	8 (5)	7 (7)	0 (0)	20 (17)	— (—)
医薬品工学科		5 (5)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	12 (12)	— (—)	13 (13)	
計			15 (16)	24 (17)	17 (14)	4 (4)	60 (51)	— (—)	24 (24)
既設	工学部 機械システム工学科		4 (5)	10 (7)	7 (6)	1 (3)	22 (21)	— (—)	8 (8)
	知能デザイン工学科		6 (6)	9 (8)	5 (6)	2 (1)	22 (21)	— (—)	5 (5)
既設	生物工学科		7 (7)	4 (4)	5 (5)	5 (5)	21 (21)	— (—)	20 (20)
	教養教育		4 (4)	13 (12)	9 (8)	0 (0)	26 (24)	— (—)	40 (40)
計			21 (22)	36 (31)	26 (25)	8 (9)	91 (87)	— (—)	73 (73)
合計			36 (38)	60 (48)	43 (39)	12 (13)	151 (138)	— (—)	97 (97)
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員		40 (41)人		0 (0)人		40 (41)人		
	技術職員		1 (1)		0 (0)		1 (1)		
	図書館専門職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	その他の職員		1 (1)		0 (0)		1 (1)		
計			42 (43)人		0 (0)人		42 (43)人		
校地等	区分		専用	共用	共用する他の学校等の専用		計		
	校舎敷地		112,162 m ²	— m ²	— m ²		112,162 m ²		
	運動場用地		44,450 m ²	— m ²	— m ²		44,450 m ²		
	小計		156,612 m ²	— m ²	— m ²		156,612 m ²		
	その他		41,400 m ²	— m ²	— m ²		41,400 m ²		
合計			198,012 m ²	— m ²	— m ²		198,012 m ²		
校舎	専用		共用	共用する他の学校等の専用		計			
	54,169 m ² (52,319 m ²)		— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)		54,169 m ² (52,319 m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)		室 (補助職員 人)			
専任教員研究室			新設学部等の名称		室数		室		
図書・設備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
			〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	
	計		〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	

図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数			
		㎡	席	万冊					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		㎡							
経費の見積り 及び 維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		教員1人当り研究費等	469千円	466千円	464千円	462千円	—千円	—千円	
		共同研究費等	110,723千円	110,723千円	110,723千円	110,723千円	—千円	—千円	
		図書購入費	33,430千円	33,095千円	32,764千円	32,436千円	—千円	—千円	
		設備購入費	71,181千円	70,470千円	69,766千円	69,070千円	—千円	—千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		県内	724千円	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円	
		県外	818千円	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要			奨励寄附金、受託研究費、電源立地交付金等のほか、不足する分については富山県の運営交付金を充てる。					
	大学の名称		富山県立大学						
既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	工学部	年	人	年次人	人		倍		
	機械システム工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.07	平成2年度	富山県射水市 黒河5180番地
	知能デザイン工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.04	平成18年度	
	情報システム工学科	4	50	—	200	学士(工学)	1.1	平成16年度	
	生物工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.03	平成18年度	
	環境工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.05	平成21年度	
工学部合計		250	—	1000		1.05			
大学の名称	富山県立大学大学院								
既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	工学研究科(博士前期課程)	年	人	年次人	人		倍		
	機械システム工学専攻	2	17	—	34	修士(工学)	1.14	平成6年度	富山県射水市 黒河5180番地
	知能デザイン工学専攻	2	17	—	34	修士(工学)	1.02	平成18年度	
	情報システム工学専攻	2	17	—	34	修士(工学)	1.17	平成18年度	
	生物工学専攻	2	15	—	30	修士(工学)	0.53	平成8年度	
	環境工学専攻	2	12	—	24	修士(工学)	0.74	平成25年度	
	工学研究科(博士前期課程)合計		78	—	156		0.94		
	工学研究科(博士後期課程)	年	人	年次人	人		倍		
	機械システム工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.25	平成8年度	
	知能デザイン工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.16	平成18年度	
	情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.08	平成18年度	
	生物工学専攻	3	4	—	12	博士(工学)	0.33	平成10年度	
	環境工学専攻	3	2	—	4	博士(工学)	1.00	平成27年度	
工学研究科(博士後期課程)合計		18	—	52		0.26			
附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の場合、変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。